



# 学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

6 月 号

令和8年5月25日

横浜市立屏風浦小学校

校長 柴原 美樹子

## 安心の中で 自分らしく

副校長 太田 理絵

新緑のまぶしい5月が過ぎ、しっとりとした雨の季節、6月を迎えようとしています。季節は少しずつ移ろい、学校の中にも落ち着いた時間が流れるようになってきました。新しい学年が始まって二か月、子どもたちはそれぞれに新しい環境に慣れ自分の居場所や役割を少しずつ見つけながら、日々を重ねています。

先日、私の大好きな絵本エリック・カール作『はらぺこあおむし』の日本語版出版50周年を記念した『エリック・カール展～はじまりは、はらぺこあおむし～』が東京都現代美術館で開催されているので、娘と観覧してきました。『はらぺこあおむし』はエリック・カールの代表作で現在全世界70以上の言語に翻訳されています。展覧会では『はらぺこあおむし』ができるまでのラフ画や原画や翻訳された実際の絵本が展示されていました。

『はらぺこあおむし』は小さな穴の開いた仕掛けがあったり美味しそうな食べ物や蝶が色彩豊かに描かれていたりして読んでも見てもその世界に引き込まれていきます。美術館の壁には実際に穴の開いている『はらぺこあおむし』の絵が飾ってあり、小さい子たちが実際に指を入れたり覗いたりして楽しんでいました。

展覧会を見ながら感じたのは、子どもから大人

まで、それぞれが思い思いに作品を楽しんでいる姿の温かさでした。同じ絵を見ている、「きれいだな」と感じる人もいれば、「おいしそう」「触ってみたい」と心が動く人もいます。その感じ方の違いがとても自然で、どれも大切にしたいものだと感じました。

また、穴に指を入れたり覗き込んだりして楽しんでいる子どもたちの姿を見ていると、思わず手を伸ばしたくなるその気持ちや「やってみたい」という

思いが学びのはじまりなのだろうと感じました。安心できる場の中だからこそ、そんな素直な姿が表れるのではないのでしょうか。

学校でも、一人ひとりの感じ方や考え方を大切にしながら、子どもたちが安心して自分の思いを表していけるようにしたいと考えています。自分の気持ちを言葉にすること、友達の話をつよく聞くこと、そうした日々の積み重ねの中で、子どもたちは少しずつ自分らしさを広げていくのだと思います。

雨の日が続くこの季節は、にぎやかな活動は少ないかもしれませんが、その分、子どもたち一人ひとりの心の様子に目を向けることができる時期でもあります。これからも、子どもたちが安心して過ごし、自分らしく伸びていけるよう、丁寧に見守っていきたいと思います。

